

経済学! ?

日本学術会議 学術フォーラム
「国際基礎科学年～持続可能な世界のために」
2022年7月29日

青木玲子（学術会議連携会員、公正取引委員会*、一橋大学名誉教授、
University of Auckland Honorary Academic）

*本日の発言は全て個人の見解です。

基礎研究の実態（１）

	企業等 数	性格別内部使用研究費 (100万円)				構成比 (%)		
		総額	基礎研究	応用研究	開発研究	基礎	応用	開発
総数	17,437	17,839,266	2,676,780	3,645,633	11,516,853	15.0	20.4	64.6
企業	14,252	13,816,562	1,019,245	2,202,728	10,594,589	7.4	15.9	76.7
非営利団体	307	217,403	45,863	96,796	74,744	21.1	44.5	34.4
公的機関	430	1,394,490	304,262	454,021	636,207	21.8	32.6	45.6
大学等	2,448	2,410,812	1,307,410	892,087	211,314	54.2	37.0	8.8

総務省 2021年 科学技術研究調査

基礎研究の実態（２）

		性格別内部使用研究費 (100万円)				構成比 (%)		
自然科学								
総数	2,202	3,914,411	1,581,924	1,419,488	912,999	40.4	36.3	23.3
非営利団体	295	212,691	45,697	92,526	74,468	21.5	43.5	35.0
公的機関	424	1,393,861	304,001	454,013	635,847	21.8	32.6	45.6
大学等	1,483	2,307,859	1,232,226	872,949	202,684	53.4	37.8	8.8
人文社会科学								
総数	983	108,293	75,612	23,416	9,265	69.8	21.6	8.6
非営利団体	12	4,712	166	4,270	276	3.5	90.6	5.9
公的機関	6	629	261	8	359	41.6	1.2	57.2
大学等	965	102,952	75,184	19,138	8,630	73.0	18.6	8.4



基礎研究とイノベーション

- ▶ 特許制度分析、特許データとアンケートを使った評価
- ▶ 重要な特許は学術論文の引用が多い
- ▶ セレンディピティーによる発明
 - ▶ セレンディピティーを評価する能力が必要
 - ▶ 知識のある人材
- ▶ ダイバーシティーが重要
 - ▶ 特許出願が多い企業は企業内の移動が多い
 - ▶ 異なる考えの交流
- ▶ 特許制度
 - ▶ 知識と技術の世代交代がスムーズに起こる制度
- ▶ 参考 長岡貞夫「発明の経済学」

持続的発展のための制度設計分科会

- ▶ カーボンニュートラルを実現するための約束は？
 - ▶ グローバルコモンズの悲劇：不特定多数のステークホルダーからなるコモンズ国際協力が不可決
- ▶ 宇沢弘文の「社会的共通資本」理論
- ▶ 「一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々がゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」
- ▶ 主権国家体制の範囲内で効果的な交渉ルールの提案
- ▶ 参考 松島斉分科会委員長報告、安田洋祐委員報告

フューチャー・デザイン分科会

- ▶ 将来世代を含めた資源の活用
- ▶ 現世代にとって消費と投資のトレードオフ
- ▶ 従来の方法（市場、マーケットデザイン、選挙制度）に代わる方法はあるか？
- ▶ 選挙制度 年代別選挙区、Demeny選挙方法
- ▶ 熟議民主主義
 - ▶ 仮想将来世代と現在世代による熟議
- ▶ 実践や実験による検証
- ▶ 参考 西條辰義分科会委員長 報告

経済学は有限な資源の最適な活用方法を考える研究

- ▶ 自然資源、人間、時間、資金、は有限資源
- ▶ 「最適」とは？
 - ▶ 誰にとって？公平とは？期間（1年、5年、生涯（1世代）、将来）
- ▶ 活用方法、制度
 - ▶ 競争市場、マッチング、交渉
 - ▶ それぞれ必要な情報が異なる
 - ▶ 市場（価格、商品情報）、マッチング（誰が何を必要としているか？臓器移植）
 - ▶ ステークホルダー
 - ▶ 年金の積み立てと支払いは異なる時代、異なる人間
 - ▶ 基礎科学への投資の恩恵は将来世代
- ▶ 行動計画（科学技術基本計画、エネルギー基本計画、総合科学技術イノベーション会議...）

ご紹介した経済の研究例

- ▶ 活用方法や制度の評価
 - ▶ 研究開発投資の成果
 - ▶ 基礎研究と発明やイノベーションの関係
- ▶ 活用方法や制度の選び方（意思決定の方法）
 - ▶ どの方法、制度で資源を活用するか？
 - ▶ 投票、独裁（政治）
 - ▶ 競争市場、マッチング・プラットフォーム、相対交渉（経済）
 - ▶ 学術会議・経済委員会の分科会
 - ▶ 持続的発展のための制度設計分科会
 - ▶ フューチャー・デザイン分科会（環境学委員会合同）